

(別紙様式1-2)

道徳教育地域支援委託事業実施計画書（平成30年度）

1 学校の概要

- (1) 学校名 三豊市立詫間中学校
(2) 所在地 香川県三豊市詫間町詫間 5796 番地 1
(3) 学年別児童生徒数及び学級数、教員数 (平成30年4月1日現在)

第1学年	第2学年	第3学年	特別支援学級	児童生徒数計	教員
3学級 93名	3学級 90名	4学級 110名	2学級 8名	301名	28名

2 研究主題等

- (1) 研究主題 豊かな心を育て、ともに未来を切り拓く道徳教育
—多様な考えに触れ、自己の生き方を考える道徳の時間—

(2) 研究主題設定の理由

道徳の教科化が実施される平成31年度に、本校で四国地区道徳教育研究大会が開催される。本校では、平成28年度に「道徳プロジェクトチーム」を発足し、平成29年度から3つの道徳チーム（教材開発チーム、道徳啓発チーム、朝の道徳チーム）を作り、全教員が学年の枠を超えていずれかのチームに所属し、学校全体で道徳教育を推進する体制を整えてきた。

こうした取組の結果、道徳の時間の確保や校内推進体制の整備については徐々に整備されつつある。今年度は、物事を自己との関わりで考えたり、多面的・多角的に考えたりして、人間としての生き方についての考えを深めることができる学習指導の在り方について更に研究を深め、道徳の時間の質の向上を図りたい。

(3) 研究内容及び方法

校内の「道徳プロジェクトチーム」及び「3つの道徳チーム」を中心として、学校全体で以下の研究を推進する。

また、先進校視察も積極的に行い、本校の実践に生かす。

- ① 多様な考えに触れ、自己の生き方を考える道徳科の授業研究
- ② 学校全体で行う「朝の道徳」の推進
- ③ 道徳通信や校内掲示による家庭啓発や環境整備の充実
- ④ 一人一人のよさを伸ばし、成長を促す評価の工夫 等

3 成果の評価計画

- ワークシートや道徳ファイル、生活記録等に書かれている生徒の考えや感想の変容を見る。
- 「道徳性検査」や「道徳の時間に関する質問調査」等を実施し、その結果を分析する。
- 毎学期末の学校評価（職員、生徒、保護者）の結果を参考にする。

4 研究成果の普及方法

- 学校ホームページやPTA新聞、各種通信等を活用し、保護者や地域に発信する。
- 校内研究授業の積極的な公開に努める。